

授業実践学年 第5学年（2月）

1 単元名 「わたしたちの生活と環境」 1 わたしたちの生活と森林（2／6時間）

2 本時のねらい

- ・ 森林資源の働きや森林資源の利用について関心を持ち、意欲的に調べることができる。
- ・ 森林が国土の保全や水資源の涵養などに重要な働きをしており、その保護や育成が必要であることを知り、環境保全のためにできることを考えることができる。

3 活動の流れ

段階	学習活動・内容	時間	指導上の留意点・評価(方法)
導入	<p>1 これまでの経験や前時までの学習を想起し、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>森林にはどんな働きがあり、森林資源はどのように利されているだろう。</p> </div>	5	<p>○ これまでの学習や経験・知識をもとに、森林とわたしたちの生活とのかかわり考えさせ、本時のめあてにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水源涵養，空気の浄化 ・ 生物の生活空間 ・ 木材の生産（家、道具、薪） ・ 山崩れや水害から守る など
展開	<p>2 森林にはどんな働きがあり、森林資源はどのように利用されているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の働き ○ 森林資源の利用 <p>3 これからの林業では何が大切か考える。</p> <p>(1) 2つのグラフを比較し、人工林と天然林の面積や量はどうか変化しているか読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面積は変化なし ・ 量は増加，特に人工林 <p>(2) 森林を守り育てるために大切なことを考える。</p>	15 20	<p>○ 生活と結びつけて考え、ワークシートに記入し話し合わせる。</p> <p>○ 国語「森林のおくりもの」で学習したことをもとに生活と結びつけながら考えさせる。</p> <p>○ グループで考えを発表し合い、様々な働きや利用の仕方について共有する。</p> <p>○ 2つのグラフから、人工林と天然林の面積や量はどうか変化しているか読み取らせる。</p> <p>○ 面積の変化がないのに、なぜこんなに量が増えているのか。特に人工林が増えているのか考えさせる。</p> <p>○ 理由を考えさせることにより、県や国の計画管理，その必要性について考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>森林の働きや森林資源の利用について理解し、森林を守り育てるためにできることを考えることができる。 (ワークシート・発表)</p> </div>
終末	<p>4 本時のまとめと次時学習内容を確認する。</p>	5	<p>○ 本時の感想を発表させ、次時につなげるようにする。</p>

4 関連する教科等

- ・ 社会科 「わたしたちの国土」（4月～5月）
- ・ 理科 「台風と天気の変化」（9月） 「流れる水のはたらき」（10月）


5 資料

- ・ ワークシート（別紙）
- ・ 森林の写真
- ・ 資料（グラフ p 104 面積の変化 p 110 森林資源の量の変化）

社会科「わたしたちの生活と森林」ワークシート

名前

1. 森林にはどんな働きがあるか、自分の毎日の生活の中から考えよう。

	
--	---

2. 2つのグラフから面積と量の変化の様子を読み取り、そのわけを考えよう。

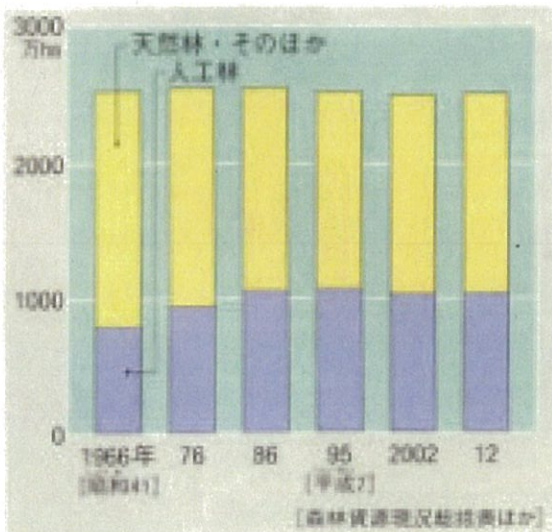
--

3. 森林を守り育てるには、どんなことができるか考えよう。

--

4. 学習をふりかえり、感想を書きましょう。

--



③ 天然林と人工林の面積の変化